

1. 略歴

- 1991年3月 東京大学文学部東洋史学専修課程卒業
1993年3月 東京大学大学院人文科学研究科（東洋史学）修士課程修了
1995年3月 東京大学大学院人文科学研究科（東洋史学）博士課程中退
1995年4月 東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所助手
1999年4月 東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所情報資源利用研究センター助手
2001年4月 東京大学大学院人文社会系研究科助教授
[2000年5月に、東京大学より博士（文学）の学位を取得]
2007年4月 東京大学大学院人文社会系研究科准教授

2. 主な研究活動

a 専門分野 b 研究課題

主な研究課題は、近代中国の都市政治、経済建設、ナショナリズム。最近では、近代中国における歴史学の形成と日本の「東洋史学」の交流の考察にも関心がある。

c 主要業績

(1) 著書

編著、岡本隆司・吉澤誠一郎編、『近代中国研究入門』、東京大学出版会、2012.8

編著、吉澤誠一郎編著、『歴史からみる中国』、放送大学教育振興会、2013.3

(2) 論文

吉澤誠一郎、「五四運動から読み解く現代中国—ラナ・ミッター『五四運動の残響』を手がかりに」、『思想』、1061号、pp. 147-159、2012.9

吉澤誠一郎、「近代中国におけるアジア主義の諸相」、松浦正孝編著『アジア主義は何を語るのか—記憶・権力・価値』ミネルヴァ書房、pp. 294-314、2013.2

吉澤誠一郎、「ネメシス号の世界史」、『パブリック・ヒストリー』、10号、pp. 1-13、2013.3

吉澤誠一郎、「梁啓超—国家主義と世界主義のはざままで」、原田敬一ほか編『講座東アジアの知識人2 近代国家の形成』有志舎、pp. 138-154、2013.11

吉澤誠一郎、「「西北」概念の変遷」、本庄比佐子・内山雅生・久保亨編『華北の発見』、東洋文庫、pp. 35-55、2013.12

(3) 学会発表

国際、Seiichiro Yoshizawa, “Chinese Nationalism and the Concept of Empire in the Twentieth Century,” 7th Anglo-Japanese Conference of Historians, Cambridge University, 2012.9.12

国内、「清末中国における男性性の構築と日本」、中国社会科学学会、2013.7.7、東京大学文学部

国内、「五四運動からみる中国ナショナリズム」、日本歴史学協会・日本学術会議史学委員会主催、「歴史教育シンポジウム：ナショナリズムと歴史教育—東アジアを中心として」、2013.10.19、駒澤大学

国際、「近代中国的亞洲主義：其特征與影響力」、「東亞共同體——傳統與現代的觀點」國際學術研討會、2013.11.27、中央研究院近代史研究所

国内(招待講演)、「近代天津の貿易とその後背地—羊毛輸出を中心に」、「東アジア都市における集団とネットワーク—伝統都市から近現代都市への文化的転回—」、2013.12.6、大阪市立大学

(4) 翻訳

ラナ・ミッター（吉澤誠一郎訳）、『五四運動の残響—20世紀中国と近代世界』、岩波書店、2012.7

3. 主な社会活動

(1) 学会等の委員

国内、史学会、理事

国内、中国社会科学学会、理事

国内、東方学会、学術委員

国内、東洋史研究会、評議員

国内、東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所、編集専門委員会、

(2) 非常勤など

放送大学客員准教授、2012.2～

和歌山大学教育学部での講演「高校「世界史」教科書について考える」、2014.1.14

(3) 公開講座

東京大学文学部集英社公開講座、東京大学、2013.10.5

まちだ市民大学、町田生涯学習センター、2013.12.12